

学級活動指導案

題材「なりたい自分になるためにできることを考えよう」〔学指要領：(3)ア〕

令和〇年〇月〇日（〇） 第5校時 多目的室
安中市立原市小学校 6年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 育成を目指す資質・能力及び児童の実態

	資質・能力	児童の実態
知識及び技能	・自ら働くことや学ぶこと、挑戦することの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来の見通しをもち、自己実現を図るために必要なことを理解し、行動の在り方を身に付けるようにする。	
思考力、判断力、表現力等	・自己の生活や学習の課題について考え、自己への理解を深め、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自己のよさを生かしたり、他者と認め合い支え合ったりして、主体的に活動することができるようにする。	
学びに向かう力、人間性等	・現状及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとする態度を養う。	

2 評価規準

知識・技能	・希望や目標をもつこと、自ら働くことや学ぶことの意義を理解し、自分の将来に関わる見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。
思考・判断・表現	・希望や目標の実現に向けて、よりよく生きるための課題に気づき、解決方法について話し合いを通して自己の考えを深め、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。
主体的に学習に取り組む態度	・現在及び将来にわたって、よりよく生きるために、「キャリア・パスポート」等を活用し、「なりたい自分」に向けて見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて主体的に行動しようとしている。

3 指導及び評価の計画、ICT 活用の計画 ※別紙を参照

4 題材設定の理由

児童が4月に決めた学級目標「積極的」「思いやり」「挑戦」を振り返りながら、自分のよさや成長を見いだしたり、学校生活の中でどのような取組が自分の成長や将来につながるのかを考えたりすることは、キャリア教育の観点から重要である。「キャリア・パスポート」を活用して学級の仲間と意見を交流し、互いのよさや成長を認め合いながら、「なりたい自分」に近付くためにできることを出し合う活動を通して、目標をもつことの意義や、自己実現を図るために必要なことや行動の在り方を理解するとともに、自己のよさや成長を生かし、協働して課題を解決する力を育むことができると考える。また、現在の取組を将来の生活や社会での役割と結び付けて考えることで、よりよく生きるための見通しをもち、主体的に行動する態度を養うことができると考え、この題材を設定した。

Ⅱ 本時の学習

- ねらい 自他のよさや可能性を探り、「なりたい自分」になるためにできることを出し合う活動を通して、自分のよさや成長に気づき、自分に合った解決方法を意思決定できるようにする。

2 展 開

<p>主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆目指す児童の姿（観点）</p>
<p>1 題材や提案理由を確認し、本時のめあてをつかむ。（5分） S：私は低学年のお手本になる6年生になりたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈めあて〉「なりたい自分」になるために学校でさらに自分にできることを見付けよう。</p> </div>	<p>○題材について話し合う必要感を持てるように、これまでのクラスの様子を示した写真と「キャリア・パスポート」の「成長のものさし」の変化を提示し、「なりたい自分」になるためにできることを考えることの重要性を問いかける。【成長のものさしの観点については別紙1を参照。】</p>
<p>2 これまでの自分について振り返り、自他の成長を感じ、自己のよさや可能性を探る。（15分） S：私は、持久走大会に向けて昼休みも練習したから、「挑戦」が成長できたと思うよ。 S：〇〇さんは「積極的」の成長がすごいな。私の知らないところでどんなことを頑張ったのか聞いてみたいな。 S：たしかに、〇〇さんは、たくさんの友達に「練習やろうよ」と積極的に声をかけていてすごいな。 S：私も、持久走大会練習で友達に『『頑張れ』ってたくさん声をかけていたよ』と友達に認められて嬉しいな。「思いやり」も成長できたな。</p>	<p>○自分のよさや成長に目が向くように、「キャリア・パスポート」の「成長のものさし」の記述からこれまでの変化を見返すよう促す。 ○互いによさや成長に気付けるように、班で互いの「成長のものさし」の変化を見合い、感じたことについて普段の様子を交えて伝えるよう助言する。 ○相手の成長について伝えられない児童には仲間の「積極的」「思いやり」「挑戦」が見えた行動を伝えるよう促す。 ○仲間から見た自分のよさや成長に気付けるように、仲間から伝えられたことをワークシートにメモするよう促す。</p>
<p>3 「なりたい自分」になるためにこれからできると、頑張りたいことを出し合う。（15分） S：私は、授業の話し合いで「積極的」に発言することを頑張ろうかな。みんなはどう思うかな。 S：友達から、「授業での発言は増えていると思うよ」と言われたな。嬉しいな。他に何を頑張れるかな。 S：〇〇さんの「委員会活動で他学年と関わるときも積極的に声をかける」という方法は、クラスの友達以外のことも考えていいいな。 S：低学年のお手本になるために、他学年の人にも声をかけることは自分にも必要かもしれないな。</p>	<p>○「なりたい自分」に向けた取組内容が明確になるように、『『なりたい自分』』に向かっているか」「その子のよさ・個性を生かしているか」「明日からできるか、やるのが具体的か」の視点を提示する。 ○自分の取組内容を考えられない児童には、「キャリア・パスポート」のこれまでの取組を基に、さらに伸ばしたいことを問いかける。 ○自分の取組内容を見直せるように、互いの取組内容について相談する機会を設定し、友達からのアドバイスをメモするよう促す。</p>
<p>4 自分に合ったできること・頑張りたいことを決め、実践への決意を持つ。（10分） S：班のみんなに私の「挑戦」「思いやり」の成長を認めてもらったから、「積極的」に向けて、委員会の時などにもクラスの友達だけでなく、他学年の子にも積極的に声をかけていきたいな。 S：友達も「なりたい自分」に向けて頑張ろうって言っているな。クラスみんなで高め合って、学級目標も「なりたい自分」も達成したいな。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆目指す児童の姿（思）</p> <p>ワークシートへの記述内容から、「これまでの自分のよさや成長を基にして、『なりたい自分』に向けた取組を決められたか」を評価する。</p> </div> <p>○学級全体で「なりたい自分」に向けて互いに高め合う意識を持てるように、今後の取組を発表する場を設ける。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈振り返り〉</p> <p>S：友達から自分のよさや成長を教えてもらって、新しい自分を知ることができた。「なりたい自分」に向けて、さらに「積極的」な内容にできたから、今日から頑張って取り組みたい。</p> </div>	

(別紙 1)

3 指導及び評価の計画、ICT 活用の計画

○ 本時題材までの学級活動(3)に関わる題材及び議題とその流れ

回	日付	題材及び議題
1	4/24	(1)学級目標をつくろう。
2	5/ 1	(3)「なりたい自分」を決めよう。
3	5/23	(1)学級目標の「積極的」「思いやり」「挑戦」に合う、修学旅行とそれまでのめあてをつくろう。
4	6/16	(1)修学旅行とそれまでの取組を振り返ろう。
5	6/27	(1)修学旅行の振り返りを基に、学級目標の「積極的」「思いやり」「挑戦」に合う、よりよい学校の過ごし方を考えよう。
6	7/17 朝	(3)2 学期までの取組を振り返ろう。
7	7/17	(3)学級目標の「積極的」「思いやり」「挑戦」に合う、夏休みの過ごし方を考えよう。
8	9/ 2 朝	(3)夏休みまでの取組を振り返ろう。
9	9/12	(3)学級目標の「積極的」「思いやり」「挑戦」に合う、運動会とそれまでに自分にできることを考えよう。
10	9/30	(3)運動会までの取組を振り返ろう。

※はじめに「学級目標」と「なりたい自分」を設定した。その後、主に学校行事に向けた議題の学級会を通して「なりたい自分」になるための取組を考えてきた。徐々に学校行事での取組からより日常的な取組を変えられるように促してきた。

○ 題材

過程	日時	主な活動	目指す児童の姿 (観点)〈評価方法〉
事前	11/10	・「キャリア・パスポート」の「成長のものさし」を用いて、これまでの成長について自己評価する。	・希望や目標の実現に向けて、よりよく生きるための課題に気づき、解決方法について意欲的に考えようとしている。 (知) (思) (態) 〈ワークシート〉
	11/13	・進行役が題材について話し合い進行計画を作る。	
本時	11/18	・自他のよさや可能性を探り、「なりたい自分」になるためにできること、頑張りたいことを出し合う。	※展開参照
事後	12/23	・決めた取組を実践する。 ・「キャリア・パスポート」の「成長のものさし」を用いて、これまでの成長について自己評価をする。	・「なりたい自分」に向けて見通しをもったり、振り返ったりして、3 学期の生活に生かそうとしている。 (思) (態) 〈ワークシート・観察〉

○ 参考資料 成長のものさし

成長のものさし

○卒業式までに、こんな自分になりたい！！

こんな 6 年生になりたい・こんなことを頑張りたい

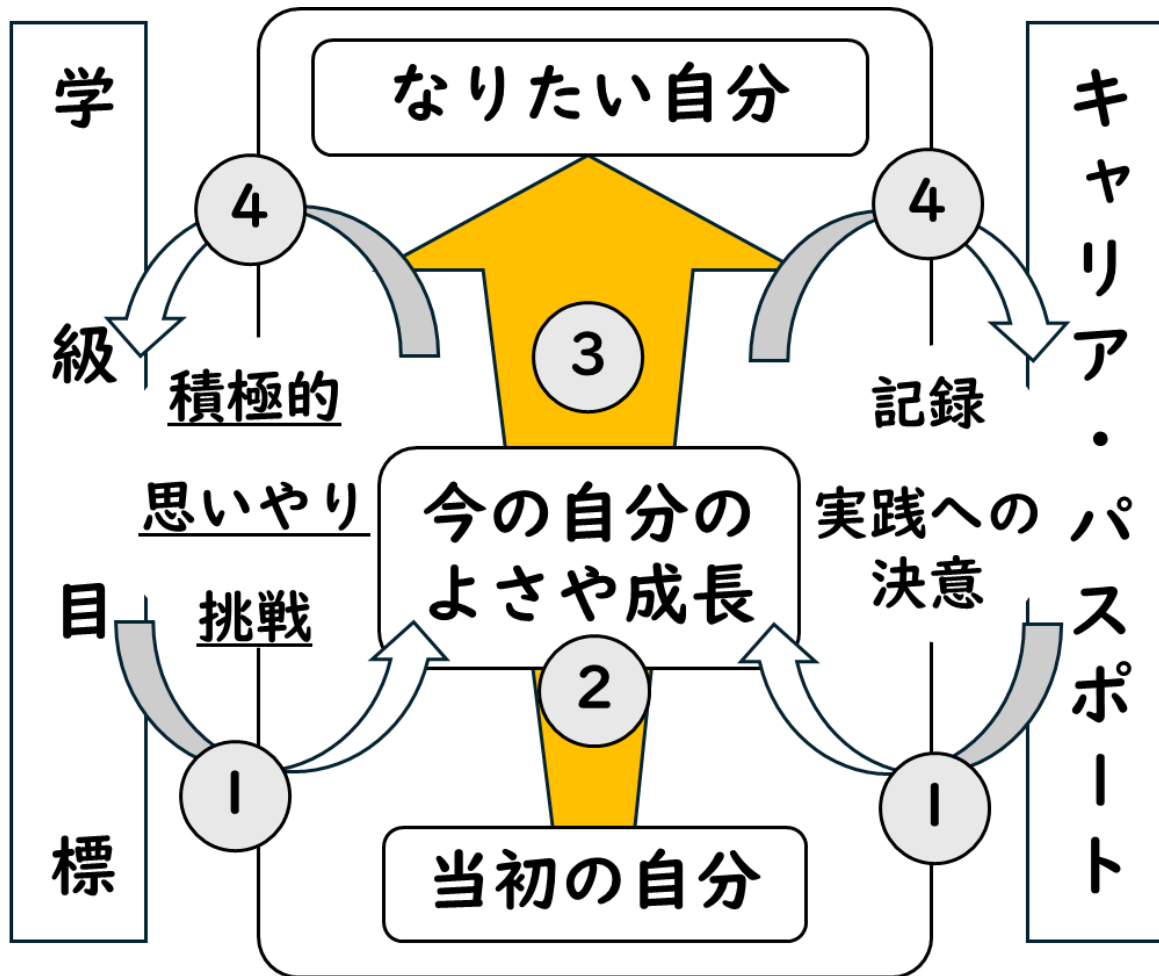
原市小学校の目指す児童の姿は「通んで学ぶ・心豊かな・たくましい子」です。
「積極的」「思いやり」「挑戦」みなさんで作った学級目標は自分自身を成長させるのに通じているとても素晴らしいものです。
最高の卒業式にするために、今の自分は「なりたい自分」に近づけているのか、学級目標を用いて振り返ってみましょう！

積極的	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
思いやり	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
挑戦	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

／	到達度をその数値にした理由
	今後自分が意識したいこと
／	到達度をその数値にした理由
	今後自分が意識したいこと

(別紙2)

○ 「なりたい自分」に向けた学級目標と個人の成長の関係



児童は、日々の学校生活の中で「なりたい自分」に近付こうと努力している。その際、学級目標として掲げた「積極的」「思いやり」「挑戦」の視点を持つことで、自分自身の成長を意識しながら、仲間と協働してよりよい学級づくりに取り組む姿が見られている。こうした学級目標は、児童が「なりたい自分」を振り返る際の視点となり、自己理解を深める手がかりとなっている。児童は、自己評価と他者評価を通して「今の自分のよさや成長」に気付き、仲間との話し合いを通して「なりたい自分に向けた取組」を明確にしながら、実践と振り返りを繰り返すことで、目標に向かって着実に歩みを進められると考えた。

児童の活動の詳細は、次のとおりである。

- ① 学級目標の「積極的」「思いやり」「挑戦」の視点で「今の自分のよさや成長」について振り返る（自己評価）。この際、「キャリア・パスポート」の「成長のものさし」で自分のよさや成長を記録する等の活用をする。（別紙1を参照。）
- ② 学級目標の「積極的」「思いやり」「挑戦」の視点で、「今の自分のよさや成長」と「なりたい自分に向けた取組」について、仲間と協働して話し合う。他者からの視点の助言（他者評価）で、多面的に自分を捉えられるようにする。これによってより「今の自分のよさや成長」に気付きやすくなる。さらに「なりたい自分に向けた取組」が明確になる。
- ③ 実践をする。
- ④ ①へ戻る。①～③を繰り返しながら「なりたい自分」に近付いていくことを目指す。